

特許出願中

特願2020-125886

T B W - L S 2 0

コロナ対策の検温システム
幼保小中高等学校などの教育機関・スポーツ施設・各種塾など
リアルタイム測定システム

製造元 株式会社ソフトケン

400-0113 山梨県甲斐市富竹新田802-2

電話:055-279-3701



mail:sales@softken.com

ひと、くらし、みらいのために

新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

令和2年7月3日時点版

症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について

抜粋

問1 熱や咳があります。どうしたらよいでしょうか。

発熱などのかぜ症状がある場合は、仕事や学校を休んでいただき、外出は控えてください。休んでいただくことはご本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。そのためには、企業、社会全体における理解が必要です。厚生労働省と関係省庁は、従業員の方々が休みやすい環境整備が大切と考え、労使団体や企業にその整備にご協力いただくようお願いしています。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他者に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

帰国者・接触者相談センター等にご相談いただく際の目安として、少なくとも以下の条件に当てはまる方は、すぐにご相談ください。

☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

※高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など）など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方

☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

ご相談は、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」（地域により名称が異なることがあります。）や、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もありますので、ご活用ください（問3参照）。

問2 発熱の継続はどのように確認すればいいですか。

発熱は、感染症や腫瘍、炎症などにより起こります。一般に、**37.5度以上**の場合は、**発熱とみなします**。ただし、症状には個人差がありますので、**平熱とあわせてご判断してください**。発熱が認められる場合は、毎日体温を測定し、体温と時間を記録してください

① 幼稚園や低学年は先生が検温して回ります



出席状態・検温値などは、
校内パソコンへアップします。



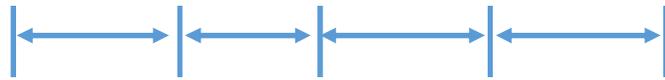
バーコードリーダー



※ バーコードの読込で「出席」が管理出来ます。

② 中・高学年は保健委員が検温して回ります

ソーシャルディスタンス(1.8M)



出席状態・検温値などは、
校内パソコンへアップします。



バーコードリーダー



検温器



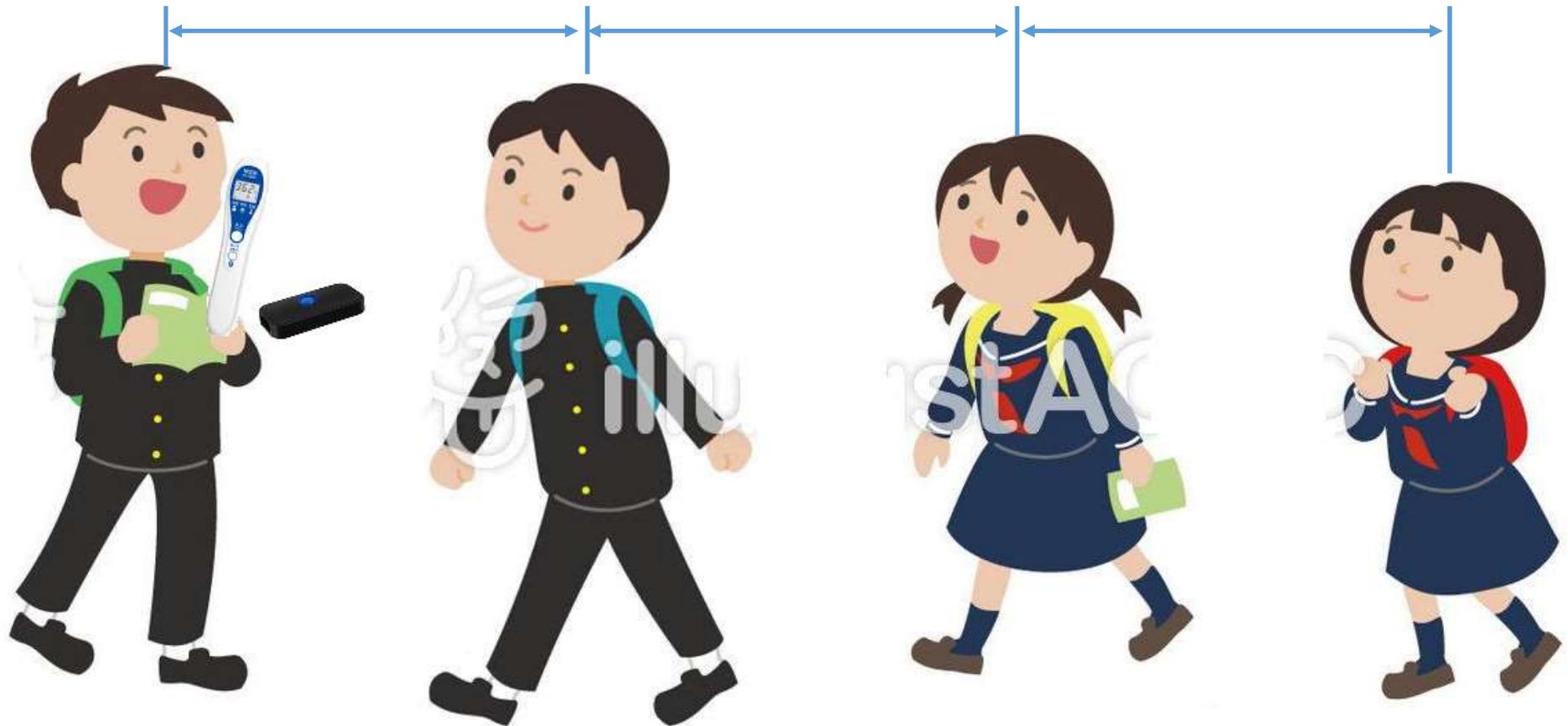
③ 中高学年や中学生は生徒自身が検温します



使用後の検温器の消毒は、各自で実施します

④ 修学旅行で集合状況を管理します

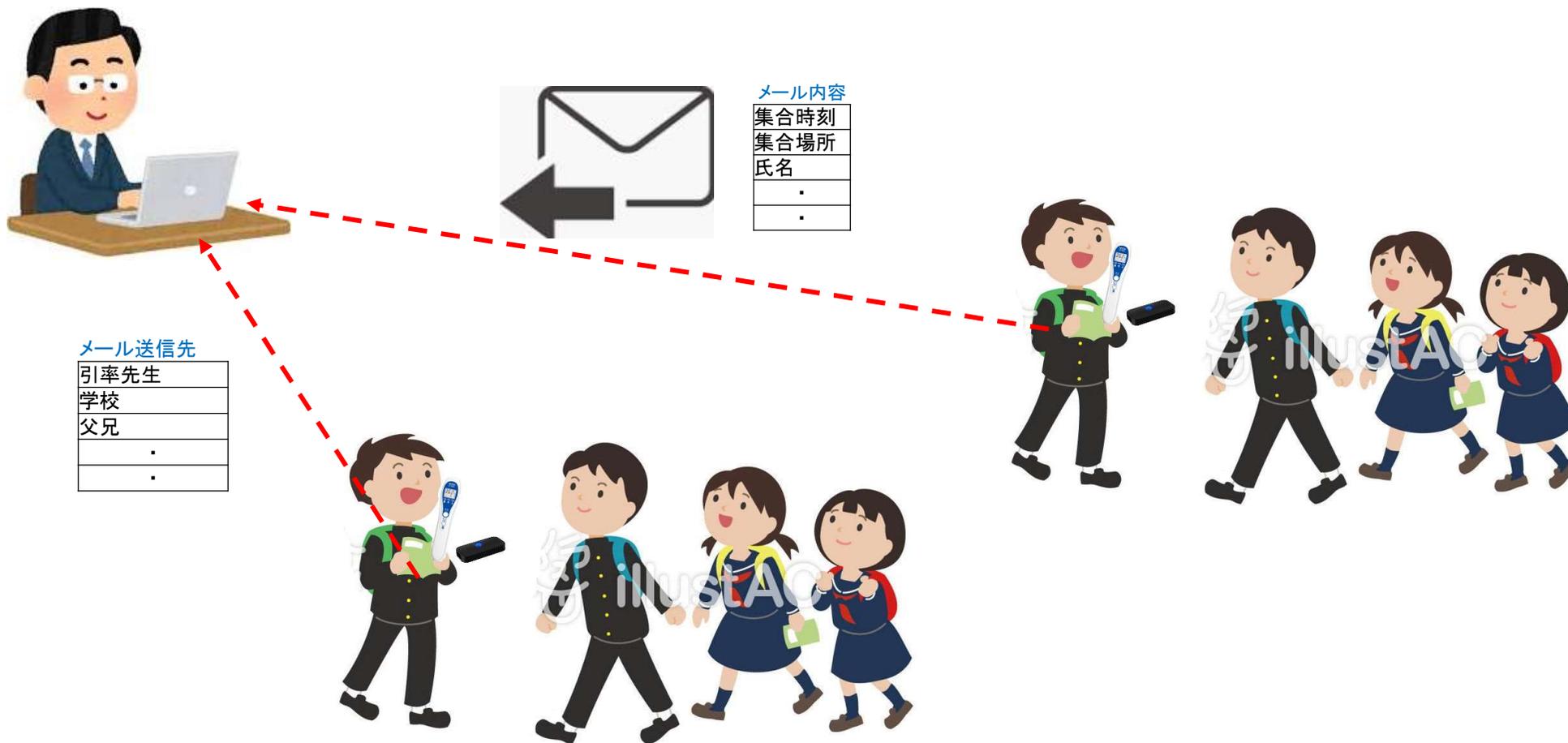
ソーシャルディスタンス(1.8M)



集合状況(時刻)が管理できます

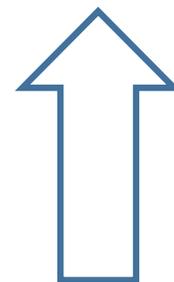
⑤ 集合状況が管理できます

※ 集合状況はメールで先生に届きます



⑦ プール授業の検温など

検温＋出席確認



出席状態・検温値などは、
校内パソコンへアップします。



バーコードリーダー



検温器



(資料①)

医師ブログ

<https://www.katoiin.info/blog/2020/04/post-86-728961.html>

2020.04.07更新

普段の体調管理で押さえておきたい、体温のはなし

本日も緊急事態宣言が出される見込みであり、皆さんも不安な日々を送られていると思います。当院にも感染したかどうかのご不安でお問い合わせ、ご受診いただくケースが増えております。

まず今まで申し上げている通り、[このケース](#)に当てはまる場合は帰国者接触者相談センターにご連絡いただき、指示を仰いでいただくようお願い致します。

ただその前に、これからは皆さん一人一人がしっかりと普段からの健康管理をしていただくことが大事となってきます。

新型コロナウイルス感染症の症状として、2019年12月から2020年2月までに中国で発症した1994人のメタ解析（いろんな論文を組み入れたもの）データが出ました。

その中では以下の症状の頻度が報告されています（ただし、おそらくここには極めて軽症や無症状の人はあまり入っていないと思われるので、そこに注意して解釈する必要があります）。

発熱：88.5%

咳：68.6%

筋肉痛・筋疲労：35.8%

(資料②)

37.5度以上発熱が4日以上続く、倦怠感や呼吸困難がある場合は「帰国者・接触者相談センター」に相談を一厚労省

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=32456>

2020.2.18. (火)

◆ 新型コロナ対応 ◆ その他医療・介護政策 ◆ ピックアップ

新型コロナウイルスに関連して、▼風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く▼強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある一場合には、「帰国者・接触者相談センター」に相談してほしい。

また、発熱等の風邪の症状が見られるときは学校や会社を休んでほしい。さらに発熱等の風邪症状が見られたら、「毎日、体温を測定して記録」してほしい。

厚生労働省は2月17日に、一般国民向けに、こういった内容を盛り込んだ「新型コロナウイルスを防ぐには」を明らかにしました（厚労省のサイトは[こちら](#)）。

昨年（2019年）12月に中華人民共和国武漢市で新型のコロナウイルスが原因と見られる肺炎が発生し、本邦においても「中国武漢市滞在歴のない」感染者が確認されるなど猛威を振るっています。また、現在、神奈川県横浜市の港にクルーズ船が寄港し、同船内で多数の新型コロナウイルス感染症患者等の発生が報告されています。

政府は緊急的な対応策をまとめて関係各所に協力を要請しており、さらに今般、一般国民向けに留意点を示したものです。

まず新型コロナウイルス感染症について、▼発熱▼のどの痛み▼長引く咳（1週間前後）▼強いだるさ（倦怠感）一を特徴とするウイルス性の風邪の一種で、飛沫感染（くしゃみ、咳、つばなどに含まれるウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染する）と接触感染（くしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れ（ウイルスが付着）、そこを触った手で口や鼻を触り粘膜から感染する）すると解説。

(システム構成例)

